

武道授業における指導 実践研究（事例報告）

<h1 style="font-size: 2em;">剣 道</h1> <p>地域指導者の活用による T T 授業の充実</p>	<p>肝付町立国見中学校（鹿児島県）</p> <p>電話番号 0994-65-2400</p> <p>メールアドレス kujhs_vp@kimotsuki.ed.jp</p>
---	---

●実践研究のねらい

- 地域指導者を武道授業の指導者として招聘することで、生徒に武道の伝統的な行動の仕方や基本動作等を身に付けさせるとともに、技能の向上と安全の確保を図る。
- 武道の指導経験が浅い教員が、豊富な指導経験を有する地域の指導者と連携して授業を進めることで、武道の指導力を高める。

●指導モデル 第2学年（1学級14名）

	1	2	3	4	5	6	7	8
種目	剣道							
学習の流れ	剣道の特性や歴史を理解し、単元の学習内容を知り、単元の見通しをもつ。	今までの身に付けた技を使って練習や攻防ができる。				学習してきた技能を生かし、練習や攻防を楽しむことができる。		
	1 オリエンテーション ・ねらいや目標 ・剣道の歴史や特性 ・学習の仕方 ・竹刀の名称 ・用具の扱い方 2 礼法 ・礼法一立礼 ・正座、座礼 3 構えと体さばき 4 打突部と打突部位の確認	※ 準備運動 1 防具の付け方・まとめ方 2 相手の動きに応じた基本動作 ・構え（自然体・中段の構え） ・体さばき（歩み足・送り足・踏み込み足） ・基本打突 ※ 正面打ちとその受け方 ※ 胴打ちとその受け方 ※ 小手打ちとその受け方 ※ 新開切り 3 有効打突の理解 ・気剣体、残心 4 基本となる技 ・二段の技（小手→面）	※ 準備運動 1 基本打突 ・正面打ちとその受け方 ・胴打ちとその受け方 ・小手打ちとその受け方 2 基本となる技 ・二段の技（小手→面） ・二段の技（面→胴） ・引き技（銚せり合いからの打突） ※ 引き面 ※ 引き胴 3 かかり練習 4 審判法学習 5 簡易試合（7・8時間目）					

●指導の工夫

1 効果的に指導するための工夫

- 指導内容の精選

地域指導者と綿密な打合せを行い、指導内容を精選しながら限られた時間の中で効率的且つ効果的な指導の充実を図る。

- 教師による指示の明確化・短縮化

I C Tや視覚教材を効果的に活用し、学習内容の明確化や運動量確保のための短縮化を図る。

2 生徒の安全を確保するための工夫

- 授業前・授業後の竹刀や防具等の点検や修繕

授業前・授業後に竹刀や防具等の点検を毎時間行い、ケガの未然防止に努める。また、修繕箇所を発見した場合は、管理職・事務職員や地域指導者と相談し、迅速且つ適切に修繕を行う。

- 竹刀や身体がぶつからないよう体育館を十分広く使用するとともに、防具の確実な着装の確認を行いながら、外れているときは、その都度教員が対応する。

●授業の様子



【ICT機器・視聴覚教材の活用】

限られた時間の中で、運動量を確保しながら効果的に指導できるように、指示の明確化・短縮化を図った。



【安全に活動できる場の確保】

生徒が活動している際に防具の確実な装着ができていないか注意深く観察しながら、適宜支援を行った。

●生徒の意識、感想、変容など

- 寒い中での裸足の授業をはじめは、少し嫌だったけど、面打ちの練習が結構爽快でした。
- 地域指導者の模範演技や直接指導をしてくださったときにほめられたのが、嬉しかったです。
- 礼法指導を、生徒会活動や学校生活でも積極的に活かしたいと思いました。
- 昨年から継続して専門的に教えてもらうことができ良かったです。これからも、地域指導者に剣道を指導してもらいたいです。

●成果と課題

- 地域指導者による剣道の伝統的な基本動作や基本となる技の指導により、生徒は剣道の特性に深く触れながら、興味を持ち、意欲的に学習に取り組めた。
- 地域指導者の指導法及び指導助言により、保健体育科教員の剣道指導における基本的指導技術の向上を培うとともに、礼法指導を教育活動全体へと波及することができた。
- 学校行事等を考慮しながら、時間割調整を行ったが、急な対応等に難しいケースがあった。また発展的な学習として、クラス対抗の試合に取り組みたいと考える。